

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月5日(土)④

担当部局・担当課名:生活環境文化部文化振興課

事業名	(一社)富山県芸術文化協会への補助等	評価結果	一部改善
-----	--------------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・県並びに協会として事業をPRする努力はしているのか。学校など教育分野との連携はされているのか。
- ・協会は自主財源を増やすべき。
- ・補助要綱がなく、ルールが明確化されていない。
- ・活動の目標を立て、それに見合った実績が出ているか検証が必要。
- ・広報紙は電子化を考えていく必要。
- ・加入団体の新陳代謝が必要。

【県民評価者の意見】

- ・協会の取組みについて、積極的にPRすべき。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 21

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (補助金の廃止)	役割分担 見直し (広域的または市町 村単位で協会を支援)	抜本的改善 (メニューの一部を廃 止)	一部改善 (成果指標の見直し、 補助金のルール作り)	現行どおり ・拡充
	0	0	6	12	3
県民評価者の 主なコメント	【一部改善】 ・コンサートや美術展などは機会を作ってもらわないとなかなか触れられないものなのでこのような取組みは必要。ただ、その取組みを知らないと意味がないので、もっとPRに注力してほしい。 ・県民に対して芸文協の活動をPRしているとのことだが、PRが届いていない人も多いのではないかと。 ・芸術文化は人それぞれの価値観に左右されるものだと感じる。この事業自体がマンネリ気味になっている気がするので一部改善としたが、一度ゼロベースにして考えて取捨選択したら良い。 ・事業シートの「目的」欄によると、芸文協に関わる人、団体にしか注目していないのか。 ・36団体への補助金の分配は人数割なのか、どのように決めているのか。				
	【抜本的改善】 ・協会会員の人だけに補助するのではなく、県民みんなに気軽に芸術文化にふれる機会を考えてもらえたらと思う。 ・補助金だけでなく、広報にも力を入れてほしい。協会に対して事業内容についてのアドバイスは必要。 ・補助金の規模の大きさに比べ成果指標がわかりづらい。事業ごとに補助金のあり方を見直したほうがよい。 【現行どおり・拡充】 ・今年富山市はオーバード・ホール 中ホールができ、これまでも市民カレッジなどが盛んで芸術面で優れていると感じている。県と市が、うまく無駄なく連携できると良い。				

【参考】委員による評価

委員総数 4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	0	4	0